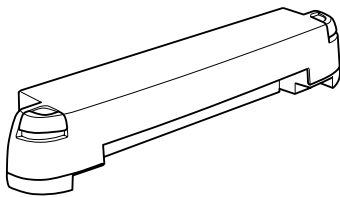
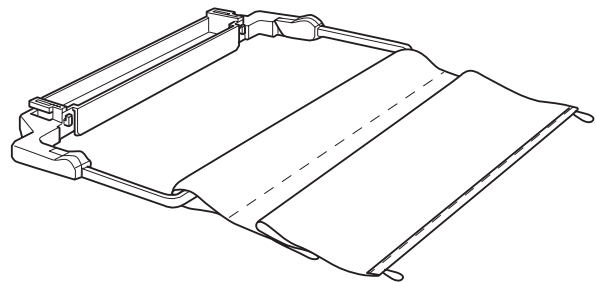
EPSON PM-4000PX用

ロール紙オートカッター

型番 ： PMA3NRAC1

このたびは、EPSON PM-4000PX 用ロール紙オートカッターをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品を使用すると、印刷時にロール紙を自動的にカットできます。
本書では、オートカッターの取り付け方、およびプリンタドライバでの装着の設定について記載しています。
ロール紙への印刷方法や本製品の使い方（ロール紙のカット方法）については、プリンタ本体の『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。

同梱品の確認

□ロール紙オートカッター本体

□紙受け用バスケット

安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、ご使用の前に下記の注意を必ずご確認ください。
本書では、危険を伴う操作・お取り扱いについて、またお守りいただく内容について、次の記号を表示し説明しています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。また、プリンタ使用時のご注意につきましては、プリンタ本体の取扱説明書を併せてご参照ください。

注意：この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

	この記号は、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。		この記号は、分解禁止を示しています。

⚠注意
プリンタ本体の電源を入れたまま、本製品を着脱しないでください。 けがや感電の原因となります。
小さなお子さまの手の届く所には、置かないでください。 落下によって、けがをするおそれがあります。
用紙の排紙部分およびカッター刃には、絶対に触らないでください。 けがの原因となります。
不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。 落下によって、けがをするおそれがあります。
分解や改造をしないでください。 けがや感電・火災の原因となります。

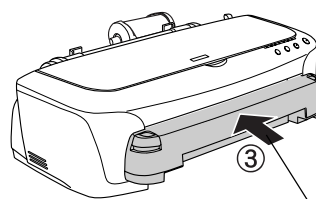
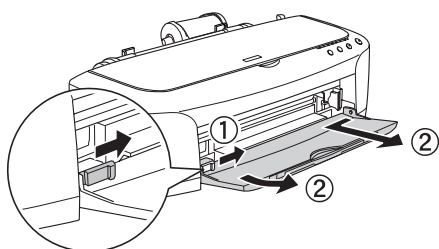
4020336-00
C01

オートカッター/紙受け用バスケットの取り付けと設定

1 オートカッターの取り付け

⚠注意　オートカッターをプリンタ本体に取り付けるときは、安全のために必ずプリンタ本体の電源をオフにしてください。

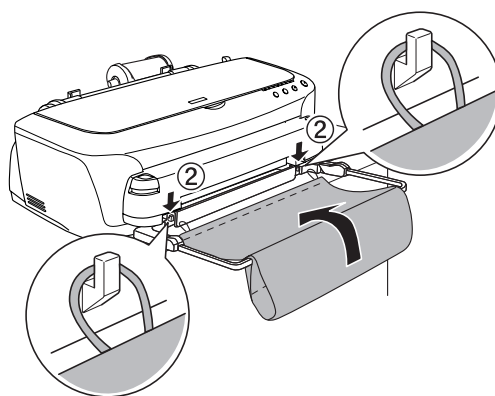
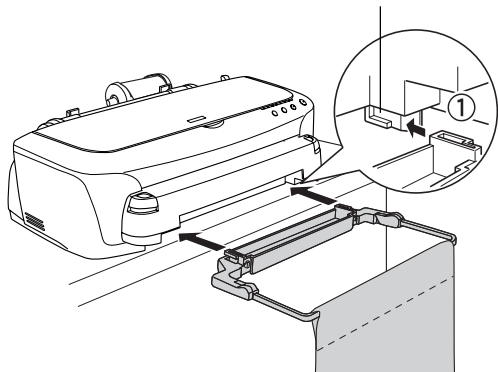
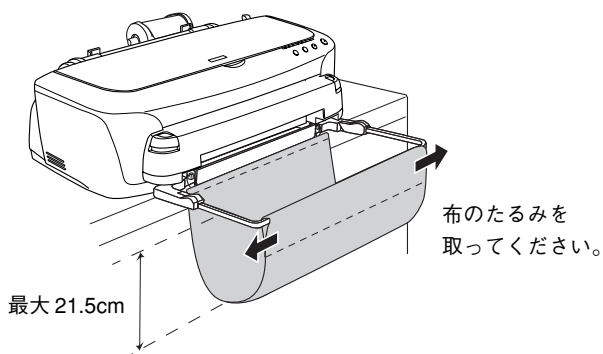
① 排紙トレイの左端にあるレバーを右方向に押しながら、
② 排紙トレイをプリンタ本体から外します。

③オートカッターを差し込みます。

2 紙受け用バスケットの取り付け

紙受け用バスケットは、下図③のように布の部分が垂れ下がるようにして使用します。紙受け用バスケットを取り付ける際は、プリンタ本体を机や台の縁へ移動してください。プリンタ本体を移動するときは、プリンタが机や台から落ちないようにご注意ください。また、不安定な場所には置かないでください。

①オートカッターに、紙受け用バスケットを差し込みます。

紙受け用バスケット先端部分の両端を、オートカッター下部の溝に沿わせるようにして差し込みます。

②紙受け用バスケットの布の先端にあるリングをフックに引っ掛けます。

③布の部分を内側に入れて袋状にします。

3 プリンタドライバでのオートカッター装着の設定

オートカッターを取り付けた後は、ご使用の前に必ずプリンタドライバで以下の設定を行ってください。この設定を行わないと、ロール紙のオートカット機能がご使用になれません。

① プリンタドライバの［ユーティリティ］画面を開き、プリンタ情報 ボタンをクリックします。

Windows	Macintosh
①クリック ②クリック ③クリック Windows XPの場合は、①［スタート］－②［コントロールパネル］－③［プリンタとその他のハードウェア］－④［プリンタとFAX］の順でクリックします。 ④右ボタンでクリック ⑤クリック Windows NT4.0の場合は［ドキュメントの既定値］、Windows 2000/XPの場合は［印刷設定］をクリック。 ⑥クリック ⑦クリック	①クリック ②クリック ③クリック ④クリック

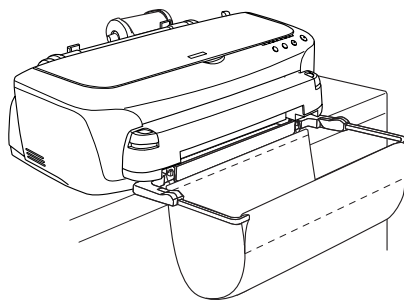
② ［オートカッター］の「オートカッター装着（Windows）/オートカッター装着済み（Macintosh）」を選択します。

以上の操作でオートカッター装着の設定は終了です。なお、印刷を実行する際には、プリンタドライバでロール紙印刷の設定およびオートカットの設定を行う必要があります。必ずプリンタ本体の『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）をご参照ください。

☞ ユーザーズガイド「ロール紙に印刷」

> **ポイント**
> オートカッターを取り付けた後は、カット位置の精度を高めるために、必ず上記画面からカット位置調整を行ってください。また、用紙種類/用紙幅の異なるロール紙をセットした場合も、カット位置調整を行ってから印刷することをお勧めします。
> ☞ ユーザーズガイド　ジャンプナンバー1421「カット位置の調整方法（オートカッター装着時）」

使用方法

プリンタを下図のような状態にしてご使用ください。

注 意

紙受け用バスケットが保持できる、カット後のロール紙のサイズと枚数は、以下の通りです。

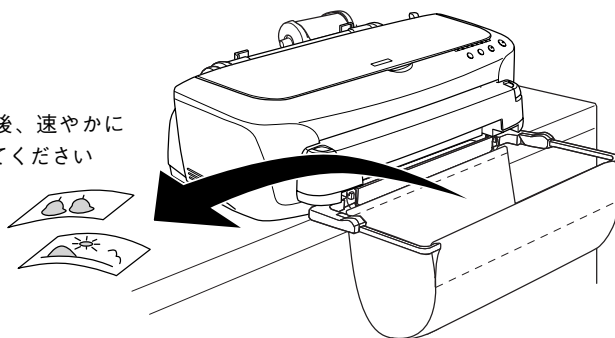
- 長さが 55mm（名刺サイズの長辺）以上、127mm（L 判の長辺）以下の場合 ：40 枚
- 長さが 127mm（L 判の長辺）以上、178mm（2L 判の長辺）以下の場合 ：20 枚
- 長さが 178mm（2L 判の長辺）以上、483mm 以下の場合 ：1 枚のみ

また、長さが 483mm を超える場合は、紙受け用バスケットを取り外してご使用ください。
上記の保持可能枚数 / サイズを超えると、用紙が詰まったり、紙受け用バスケットが破損するおそれがあります。

ポイント

ロール紙への印刷方法、オートカッターを使った方法については、プリンタに添付のユーザーズガイド（電子マニュアル）をご覧ください。
ユーザーズガイド「ロール紙に印刷」

PM写真用紙＜光沢＞、PM/MC写真用紙＜半光沢＞をご使用の場合

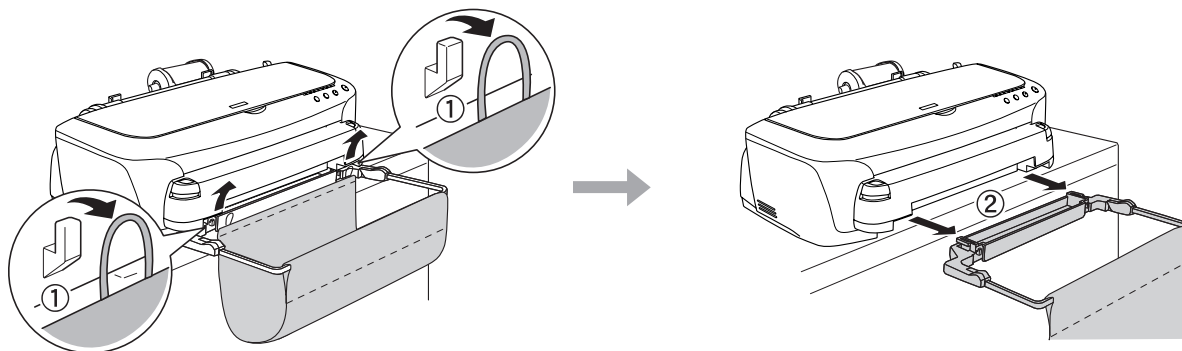
印刷後の用紙は、速やかに紙受け用バスケットから取り除いて、1 枚ずつ広げて乾燥（※）させてください。
※ 1 枚ずつ広げておよそ一昼夜（24 時間）程度乾燥させるか、15 分程度放置した後、普通紙などの吸湿性のある用紙を印刷面に重ねて乾燥させてください。

印刷後の用紙が紙受け用バスケット内で重なっていると、重なった部分の色が変わる（重なった部分に跡が残る）ことがあります。この跡は、1 枚ずつ広げて乾燥させれば、なくなります。重なっている状態で放置すると、1 枚ずつ広げて乾燥させても跡が消えなくなりますのでご注意ください。

オートカッター/紙受け用バスケットの取り外しと排紙トレイの取り付け

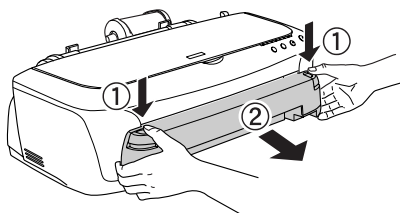
オートカッターを取り付ける前の状態に戻すには、以下の手順に従ってください。

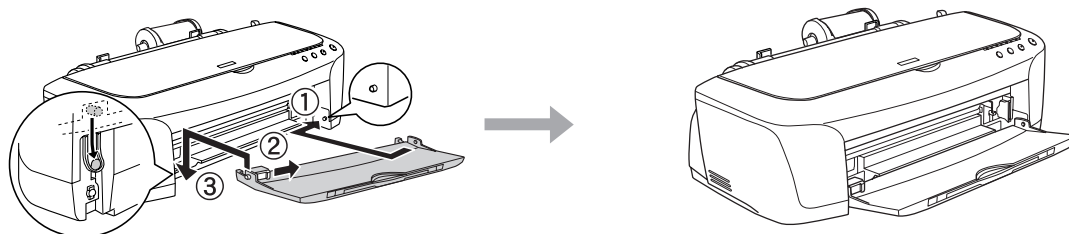
1 紙受け用バスケットの取り外し

① 紙受け用バスケットの布の先端にあるリングを、フックから取り外します。

②紙受け用バスケットを排紙トレイから取り外します。

2 オートカッターの取り外し

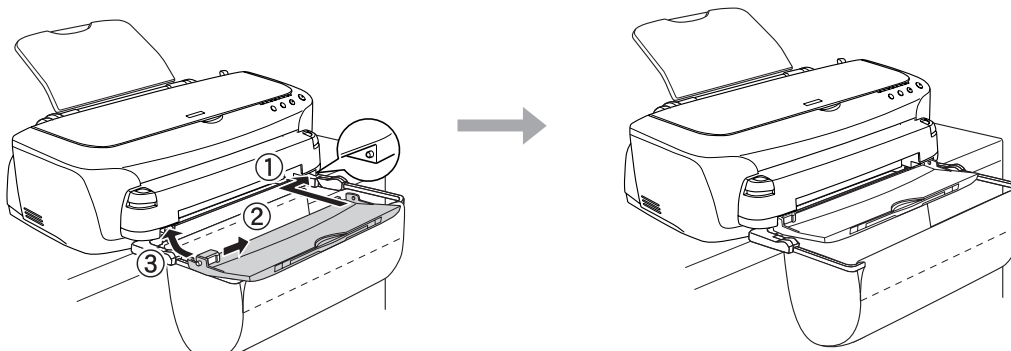
⚠注意	オートカッターをプリンタ本体から取り外すときは、安全のために必ずプリンタ本体の電源をオフにしてください。

①オートカッターの両端のボタンを押しながら、②手前に引いて取り外します。

3 排紙トレイの取り付け

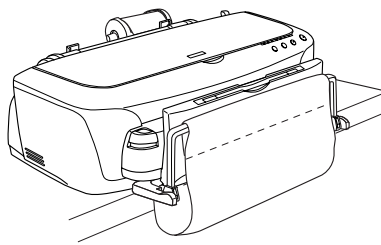
①排紙トレイ右側の穴をプリンタの排紙口右側の突起に合わせ、
②排紙トレイの左端のレバーを右方向に押しながら、
③排紙トレイ左側の突起をプリンタの排紙口左側の穴に、上から落とし込むようにして差し込みます。

定形紙に印刷する場合

オートカッター、紙受け用バスケット、排紙トレイを取り付けた状態で、定形紙に印刷することができます。
以下の手順で排紙トレイを取り付けてください。

以下の用紙へ印刷する場合には、オートカッターを取り外してお使いください。
封筒 / マットボード紙 /CD-R

①排紙トレイ右側の穴をオートカッター排紙口右側の突起に合わせ、
②排紙トレイの左端のレバーを右方向に押しながら、
③排紙トレイ左側の突起をオートカッター排紙口左側の穴に差し込みます。

※ 上図から排紙トレイを取り外す方法は、
2ページの 1 と同じです。

印刷しないときの収納方法

下図にように紙受け用バスケットを立てることで、紙受け用バスケットと排紙サポートを収納することができます。

製品仕様

カット方式	固定刃＋移動式回転刃方式
カット方向	本体に向かって右→左（単方向カット）
カット速度	230 ± 23mm/ 秒（回転刃キャリッジ移動距離 344 × 2mm）
カット方法	プリンタドライバで設定（[標準 1 カット] / [こだわり 2 カット]）
紙搬送能力	専用ロール紙（89/100/127/210/329mm 幅）
切断能力	専用ロール紙の幅（89/100/127/210/329mm 幅）、カット間隔 18mm 以上
紙送り分解能	1/1440 インチ
信頼性	寿命 5 年、または最大カット回数 30,000 回
姿勢	水平設置（0°）
外形寸法	オートカッター本体：515mm（W）× 143mm（D）× 89mm（H） 紙受け用バスケット：490mm（W）× 210mm（D）×最大 215mm（H）* *：布が垂れ下がった状態での寸法です。
重量	オートカッター本体：1.4kg
カット後用紙保持能力	• 長さが 55mm 以上、127mm 以下の場合：40 枚まで • 長さが 127mm 以上、178mm 以下の場合：20 枚まで • 長さが 178mm 以上、483mm 以下の場合：1 枚のみ

Printed in Japan 02.xx-xx